

平成23年8月 東京地区百貨店売上高概況

平成23年9月20日

I. 概況

1. 売上高総額	994億円余
2. 前年同月比	-2.9% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-1.7%(88.4%) : 非店頭-11.3%(11.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成23年7月対比-1店)
5. 総店舗面積	904,275㎡ (前年同月比:-2.8%)
6. 総従業員数	19,099人 (前年同月比:-8.9%)
7. 3か月移動平均値	1-3月 -6.6%、2-4月 -9.2%、3-5月 -10.7%、 4-6月 -3.1%、5-7月 -1.7%、6-8月 -1.2%

[参考] 平成22年8月の売上高増減率は-3.4%

【8月売上の特徴】

- (1) 中旬以降の天候不順と日曜日が前年に比べ1日少なかった影響で、都内各店の入店客数は概ね5%前後の減少であった。
- (2) 東京地区における高額品の動向は全国水準以上に活況であった。富裕層を中心に100万円を超える価格帯で、高級時計やジュエリーのほか海外特選ツアーなどもよく動いた。
- (3) 最近のトレンドである家庭回帰志向によって、身近な生活材を充実させる動向が顕著となり、食器や調理器具(その他家庭用品:+2.8%)などが引き続き好調に推移した。
- (4) 企業の節電対策による夏期休暇の分散化を背景として、例年はお盆休みにピークを迎える帰省土産や上京土産の需要(菓子:-1.3%)に若干影響を受けている。
- (5) 昨年、猛暑で活況を呈した屋上ビアガーデンについては、今年は8月中旬以降の雨天や気温低下の影響からシーズン後半に伸び悩み、前年の水準には届かなかった。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.6日 (前年同月比-0.4日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 4店、②変化なし: 1店、③減少した: 14店、④不明: 1店
- (3) 8月歳時記(旧暦お盆、夏休み、夏祭り)の売上(同上)
 - ①増加した: 5店、②変化なし: 5店、③減少した: 3店、④不明: 7店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 1店、②変化なし: 9店、③減少する: 7店、④不明: 3店

東京地区百貨店 売上高速報 2011年08月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	99,421,433	100.0	-2.9 (-3.8)
紳士服・洋品	5,507,136	5.5	-9.2 (-10.2)
婦人服・洋品	17,084,404	17.2	-6.1 (-8.7)
子供服・洋品	1,509,769	1.5	0.6 (0.5)
その他衣料品	2,028,360	2.0	-13.5 (-13.5)
衣 料 品	26,129,669	26.3	-7.0 (-8.9)
身のまわり品	13,877,605	14.0	-0.6 (-2.9)
化粧品	5,808,837	5.8	-4.5 (-8.3)
美術・宝飾・貴金属	6,153,366	6.2	6.5 (6.5)
その他雑貨	6,240,880	6.3	0.5 (0.3)
雑 貨	18,203,083	18.3	0.7 (-0.7)
家 具	1,870,583	1.9	-8.1 (-8.3)
家 電	521,700	0.5	22.3
その他家庭用品	3,971,619	4.0	2.8 (2.8)
家 庭 用 品	6,363,902	6.4	0.6 (0.5)
生 鮮 食 品	4,358,434	4.4	0.0 (2.9)
菓 子	7,802,574	7.8	-1.3 (-0.4)
惣 菜	5,934,219	6.0	0.4 (1.9)
その他食料品	8,455,837	8.5	-0.3 (0.5)
食 料 品	26,551,064	26.7	-0.4 (0.9)
食 堂 喫 茶	3,462,424	3.5	2.7 (1.9)
サ ー ビ ス	2,034,462	2.0	-11.6 (-15.8)
そ の 他	2,799,224	2.8	-22.7 (-22.7)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商 品 券	3,282,217 千円	-35.2 (-35.5)
従 業 員 数	19,099 人	-8.9
店 舗 面 積	904,275 m ²	-2.8

営 業 日 数	30.6 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が2か月連続、家庭用品が3か月連続のプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、食料品。また、美術・宝飾・貴金属、その他家庭用品が3か月連続、家電が2か月連続、子供服・洋品、惣菜が2か月ぶり、その他雑貨が39か月ぶりのプラス、生鮮食品が前年並みとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-2.9	—	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	-9.2	-0.5	3か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-6.1	-1.1	6か月連続マイナス
子供服・洋品	0.6	0.0	2か月ぶりプラス
その他衣料品	-13.5	-0.3	40か月連続マイナス
衣料品	-7.0	-1.9	2か月連続マイナス
身のまわり品	-0.6	-0.1	2か月ぶりマイナス
化粧品	-4.5	-0.3	2か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	6.5	0.4	3か月連続プラス*
その他雑貨	0.5	0.0	39か月ぶりプラス*
雑貨	0.7	0.1	2か月連続プラス
家具	-8.1	-0.2	5か月連続マイナス
家電	22.3	0.1	2か月連続プラス
その他家庭用品	2.8	0.1	3か月連続プラス
家庭用品	0.6	0.0	3か月連続プラス
生鮮食品	0.0	0.0	2か月ぶりプラス*
菓子	-1.3	-0.1	2か月連続マイナス*
惣菜	0.4	0.0	2か月ぶりプラス*
その他食料品	-0.3	0.0	7か月連続マイナス*
食料品	-0.4	-0.1	2か月連続マイナス
食堂喫茶	2.7	0.1	3か月連続プラス
サービス	-11.6	-0.3	3か月連続マイナス
その他	-22.7	-0.8	2か月連続マイナス
商品券	-35.2	-1.7	4か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>